

安全衛生関係統計資料

－ 令和3年発生分 －



岐阜労働基準監督署

(一社) 岐阜労働基準協会

(令和4年5月作成)

この小冊子は、岐阜署管内における災害発生状況等をまとめ、安全衛生活動における課題を探る一助にさせていただくために作成したものです。

事業場の皆様におかれましては、本冊子を安全衛生活動の参考資料として御活用いただければ幸いです。

目次

過去10年間の業種別労働災害発生状況	1p
1 死傷災害	2p
2 製造業における労働災害発生状況	6p
3 建設業における労働災害発生状況	8p
4 運送業における労働災害発生状況	10p
5 商業等における労働災害発生状況	12p
6 業務上疾病の発生状況	14p
7 労働災害発生事例	15p
8 健康診断の状況	17p
9 その他	
STOP!転倒災害プロジェクト	
高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン （エイジフレンドリーガイドライン）	
岐阜産業保健総合支援センターのご案内	

令和4年度全国安全週間

令和4年7月1日～7月7日

（準備期間 令和4年6月1日～6月30日）

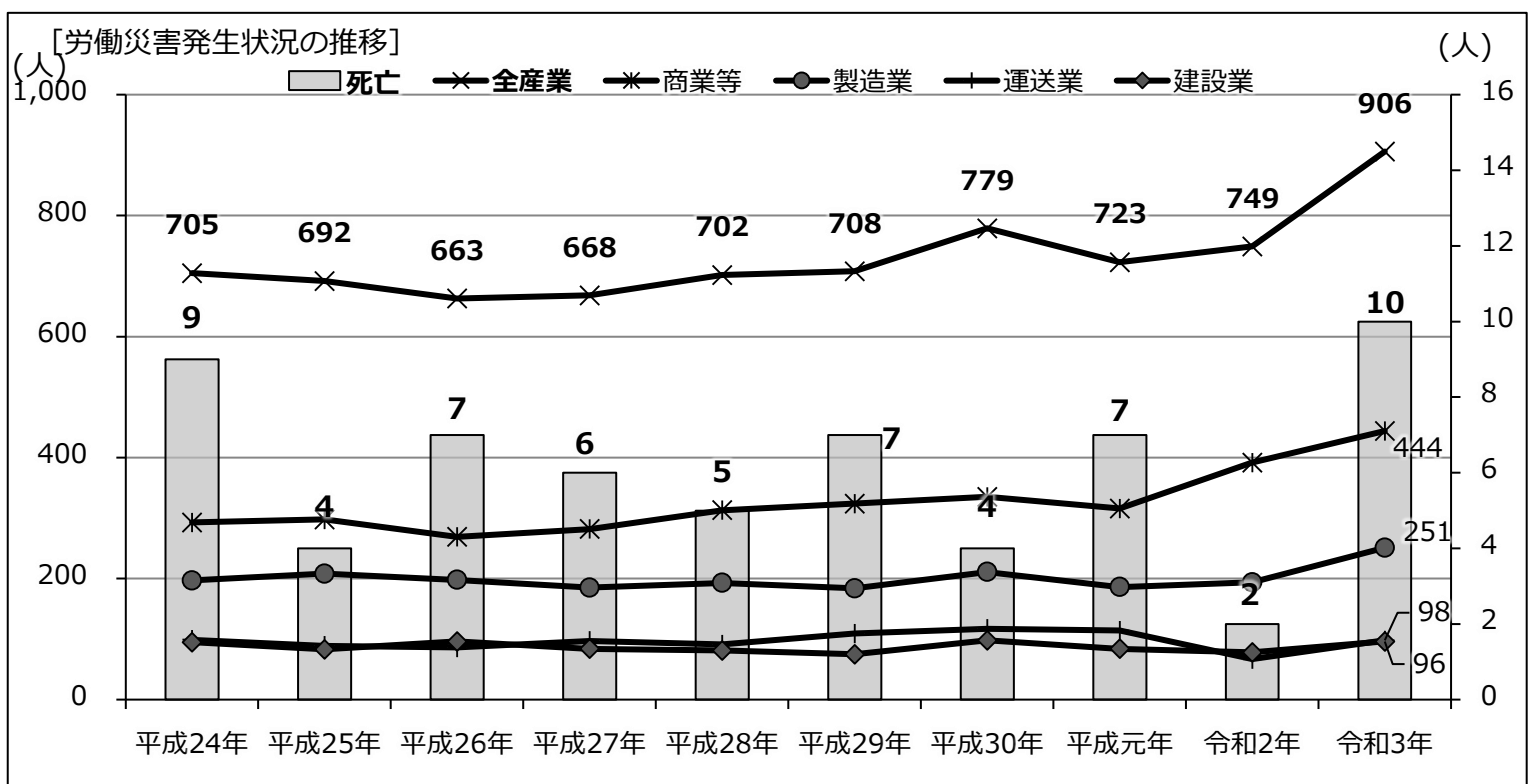
本年度の全国安全週間は、以下をスローガンとして展開されます。

<スローガン>

安全は 急がず焦らず怠らず

過去10年間の業種別年別労働災害発生状況

業種	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	対前年 増減	対前年 増減率
総計	(9) 705	(4) 692	(7) 663	(6) 668	(5) 702	(7) 708	(4) 779	(7) 723	(2) 749	(10) 906	+157	+21.0%
製造業	(2) 197	(2) 208	198	(1) 185	193	(1) 184	(2) 211	(1) 186	194	(5) 251	+57	+29.4%
食料品製造	(1) 43	47	47	34	68	49	74	60	54	(2) 101	+47	+87.0%
繊維工業	6	5	8	3	3	5	9	4	10	4	-6	-60.0%
衣類その他	6	3	3	1	7	1	4	(1) 3	3	3		
木材木製品	4	9	2	10	5	7	(1) 5	3	2	3	+1	+50.0%
家具装備品	8	12	10	14	2	9	10	5	10	8	-2	-20.0%
パルプ紙加工	5	4	6	7	8	7	7	5	6	9	+3	+50.0%
印刷製本業	4	7	4	1	4	3	6	2	3	6	+3	+100.0%
化学工業	9	16	14	15	8	10	8	15	12	17	+5	+41.7%
窯業土石製品	16	5	5	5	2	(1) 6	4	6	5	4	-1	-20.0%
鉄鋼業	10	12	10	5	11	10	(1) 4	9	9	5	-4	-44.4%
非鉄金属製品	3	(1) 4	4	3	5	3	2	3	6	4	-2	-33.3%
金属製品	34	32	24	(1) 28	32	26	29	26	22	(2) 34	+12	+54.5%
一般機械器具	14	(1) 21	22	26	12	13	12	9	7	15	+8	+114.3%
電気機械器具	2	2		3	2	3	2	3	3	3		
輸送用機械器具	13	15	18	10	11	13	23	16	15	(1) 18	+3	+20.0%
電気ガス水道					2	1		2	2	3	+1	+50.0%
その他製造業	(1) 20	14	21	20	11	18	12	15	25	14	-11	-44.0%
土石採取業等							1			2		
建設業	95	83	(2) 96	(2) 84	(2) 81	(2) 75	(1) 98	84	(1) 78	(2) 96	+18	+23.1%
土木工事業	23	16	26	(1) 19	18	(1) 22	17	18	23	30	+7	+30.4%
建築工事業	40	52	(1) 56	49	(2) 55	(1) 44	(1) 63	50	47	(1) 53	+6	+12.8%
(木造建築工事)	14	9	11	15	17	(1) 12	19	11	8	9	+1	+12.5%
その他工事	32	15	(1) 14	(1) 16	8	9	18	16	(1) 8	(1) 13	+5	+62.5%
運送業	(3) 99	89	(2) 86	(1) 97	91	(1) 109	117	(2) 114	67	(3) 98	+31	+46.3%
陸上貨物運送	(3) 88	83	(1) 73	(1) 90	75	(1) 87	92	(2) 92	56	(2) 88	+32	+57.1%
農林畜産水産業	21	14	14	20	(2) 24	16	17	23	18	15	-3	-16.7%
商業等	(4) 293	(2) 298	(3) 269	(2) 282	(1) 313	(3) 324	(1) 335	(4) 316	(1) 392	444	+52	+13.3%
商業	(2) 90	(1) 106	(2) 94	90	(1) 131	120	(1) 138	(3) 122	151	124	-27	-17.9%
小売業	(1) 66	(1) 83	(2) 73	65	(1) 103	96	(1) 103	(3) 90	112	88	-24	-21.4%
保健衛生業	(1) 41	54	45	54	46	51	60	68	94	136	+42	+44.7%
社会福祉施設	(1) 33	27	30	34	30	42	36	54	57	97	+40	+70.2%
接客娯楽業	53	62	46	56	52	(1) 51	43	41	36	60	+24	+66.7%
飲食店	36	34	26	33	35	(1) 40	34	28	27	49	+22	+81.5%
清掃・と畜業	(1) 22	(1) 21	17	18	21	(1) 29	23	31	40	33	-7	-17.5%
ビルメンテナンス	(1) 11	12	8	8	10	18	9	23	15	20	+5	+33.3%
警備業	16	14	15	(1) 12	9	(1) 16	15	(1) 9	16	24	+8	+50.0%

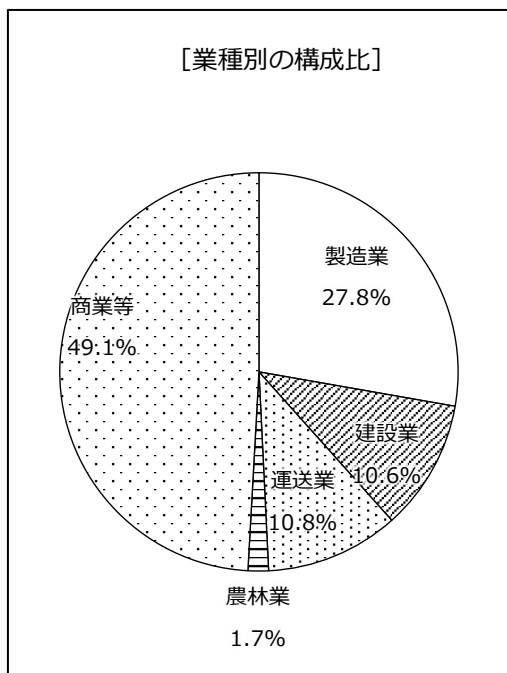
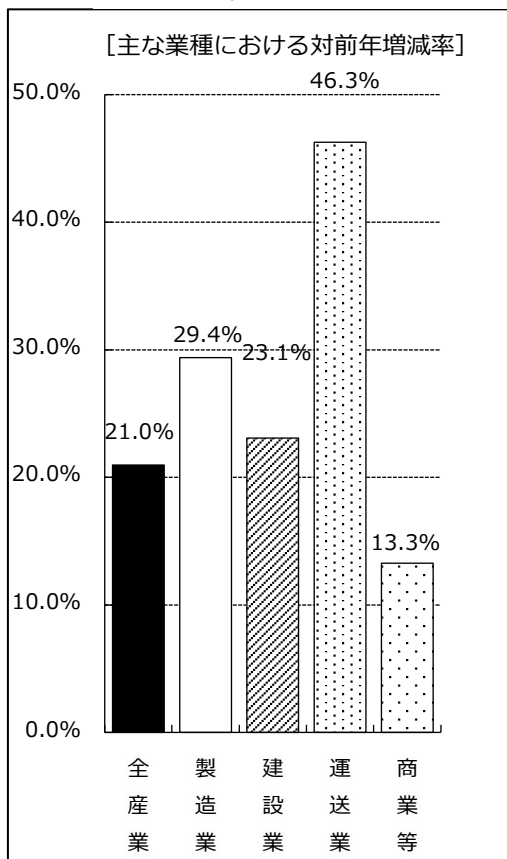


1 死傷災害

① 業種別

岐阜労働基準監督署管内における休業4日以上の死傷者数は、前年から157人(21.0%)の増加となりました。

業種別にみると、卸小売業を含む、商業(-27人)等で減少が認められますが、製造業(+57人)、建設業(+18人)、運送業(+31人)、および社会福祉施設(+40人)等で増加しています。



業種別	年 別		対前年比		業種別 構成比
	2年	3年			
全産業	(2) 749	(10) 906	157	21.0%	100.0%
製造業	194	(5) 251	57	29.4%	27.7%
食料品	54	(2) 101	47	87.0%	11.1%
繊維工業	10	4	-6	-60.0%	0.4%
衣服その他	3	3			0.3%
木材木製品	2	3	1	50.0%	0.3%
家具装備品	10	8	-2	-20.0%	0.9%
パルプ・紙加工	6	9	3	50.0%	1.0%
印刷・製本	3	6	3	100.0%	0.7%
化学工業	12	17	5	41.7%	1.9%
窯業土石製品	5	4	-1	-20.0%	0.4%
鉄鋼業	9	5	-4	-44.4%	0.6%
非鉄金属	6	4	-2	-33.3%	0.4%
金属製品	22	(2) 34	12	54.5%	3.8%
一般機械器具	7	15	8	114.3%	1.7%
電気機械器具	3	3			0.3%
輸送用機械等	15	(1) 18	3	20.0%	2.0%
電気・ガス・水道	2	3	1	50.0%	0.3%
その他	25	14	-11	-44.0%	1.5%
土石採取業等		2	2		0.2%
建設業	(1) 78	(2) 96	18	23.1%	10.6%
土木工事業	23	30	7	30.4%	3.3%
建築工事業	47	(1) 53	6	12.8%	5.8%
木造家屋	8	9	1	12.5%	1.0%
その他の建設	(1) 8	(1) 13	5	62.5%	1.4%
運送業	67	(3) 98	31	46.3%	10.8%
陸上貨物運送事業	56	(2) 88	32	57.1%	9.7%
農林業等	18	15	-3	-16.7%	1.7%
商業等の事業	(1) 392	444	52	13.3%	49.0%
商業	151	124	-27	-17.9%	13.7%
保健衛生業	94	136	42	44.7%	15.0%
社会福祉施設	57	97	40	70.2%	10.7%
接客娯楽業	36	60	24	66.7%	6.6%
飲食店	27	49	22	81.5%	5.4%
清掃・と畜業	40	33	-7	-17.5%	3.6%
ビルメンテナンス	15	20	5	33.3%	2.2%
警備業	16	24	8	50.0%	2.6%

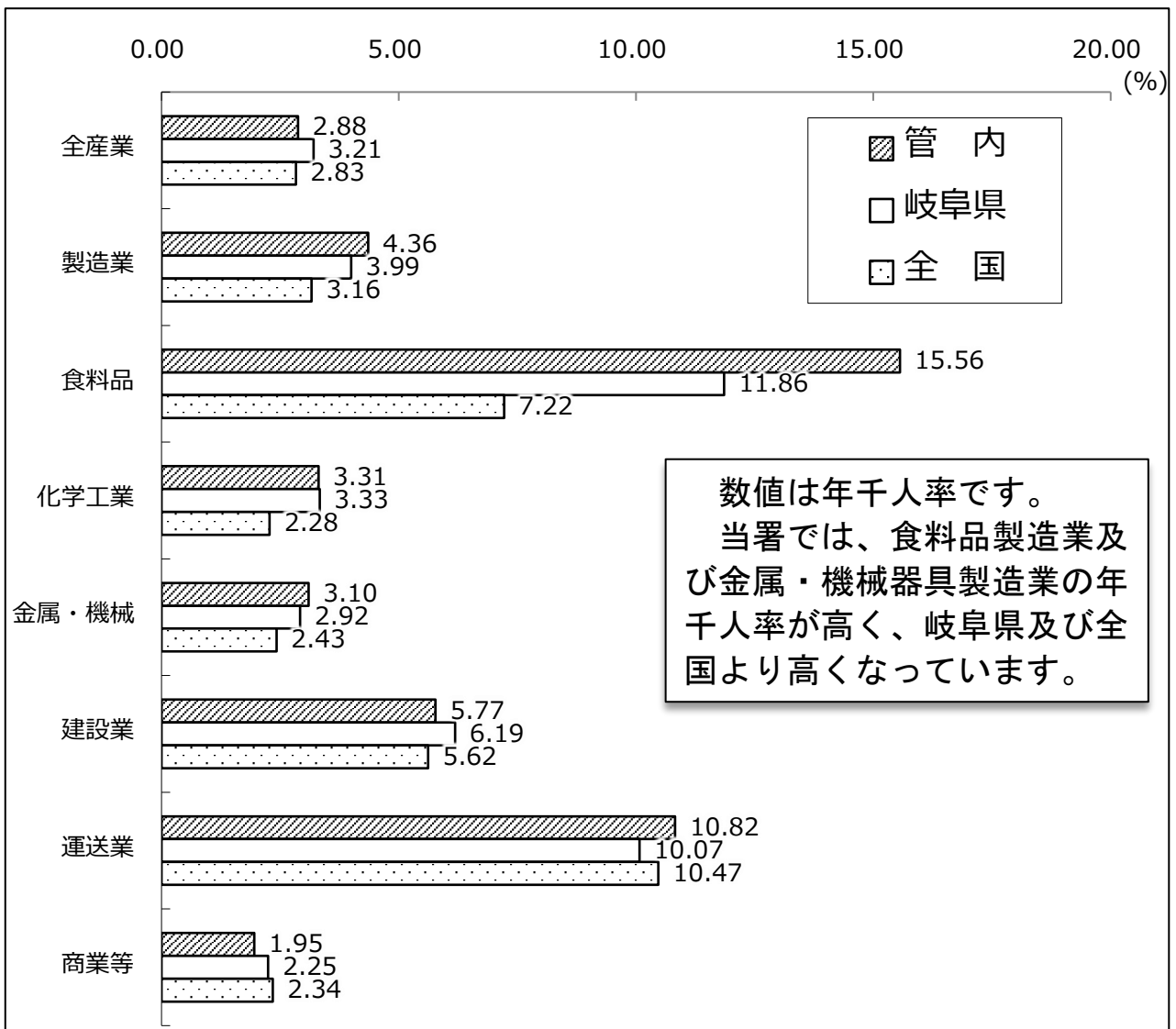
業種別構成比は、小数点以下第2位を四捨五入していますので100%にならない場合があります。

② 業種別年千人率

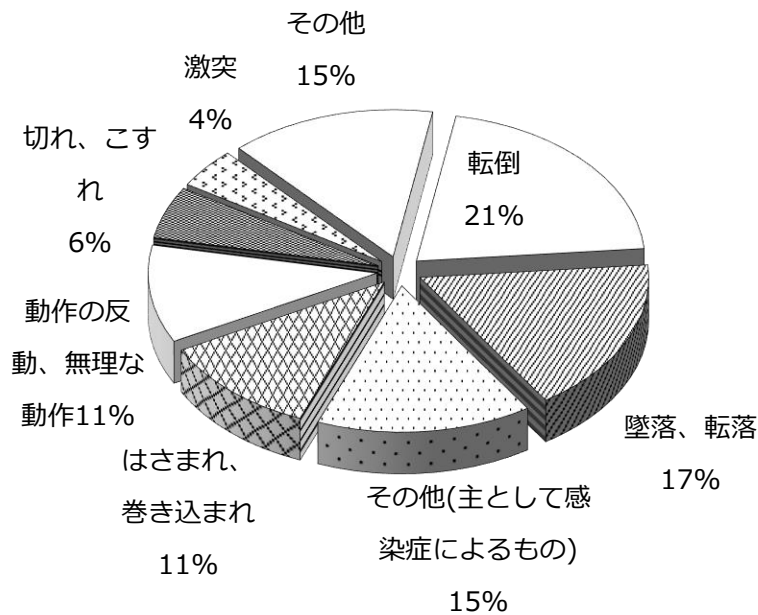
業種別	管内			岐阜県			全国		
	死傷者数	労働者数	千人率	死傷者数	労働者数	千人率	死傷者数	労働者数	千人率
全産業	906	314,910	2.88	2,535	790,923	3.21	149,917	52,935,178	2.83
製造業	251	57,621	4.36	823	206,087	3.99	28,605	9,040,956	3.16
食料品	101	6,491	15.56	213	17,966	11.86	8,890	1,231,653	7.22
化学工業	17	5,138	3.31	80	23,998	3.33	2,301	1,009,821	2.28
金属・機械	79	25,479	3.10	283	96,916	2.92	10,392	4,285,166	2.43
建設業	96	16,630	5.77	267	43,159	6.19	16,078	2,863,208	5.62
運送業	98	9,055	10.82	227	22,535	10.07	17,867	1,706,585	10.47
商業等	444	227,284	1.95	1,139	506,737	2.25	80,454	34,326,670	2.34

備考

1. 「年千人率」とは、1年間の労働者1,000人当たりが発生した死傷者の割合を示すものです。
2. 労働者数は総務省統計局「平成26年経済センサス基礎調査」（5年ごとに実施される）の情報を再集計しています。
3. 千人率は少数点以下第3位を四捨五入しています。
4. 農林業等の業種別統計は行っていません。

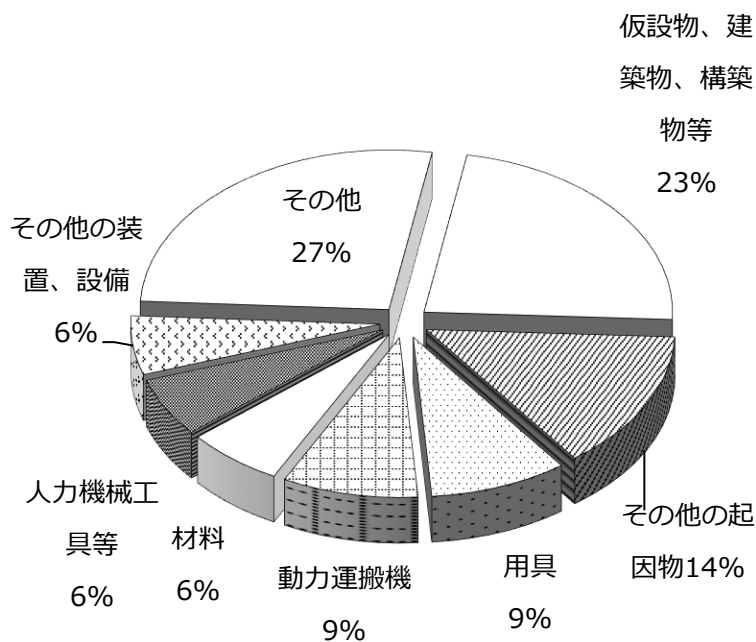


③ 事故の型別



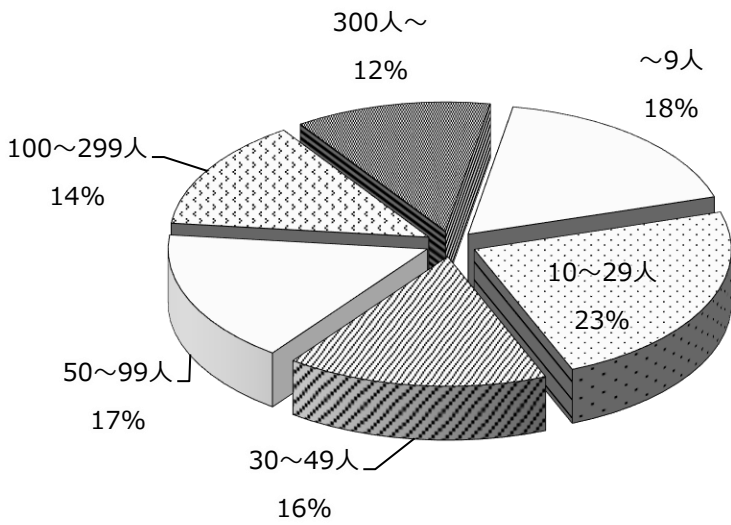
事故の型	人数
転倒	189
墜落、転落	155
その他(主として感染症によるもの)	138
はさまれ、巻き込まれ	103
動作の反動、無理な動作	97
切れ、こすれ	52
激突	40
その他	132
合計	906

④ 起因物別



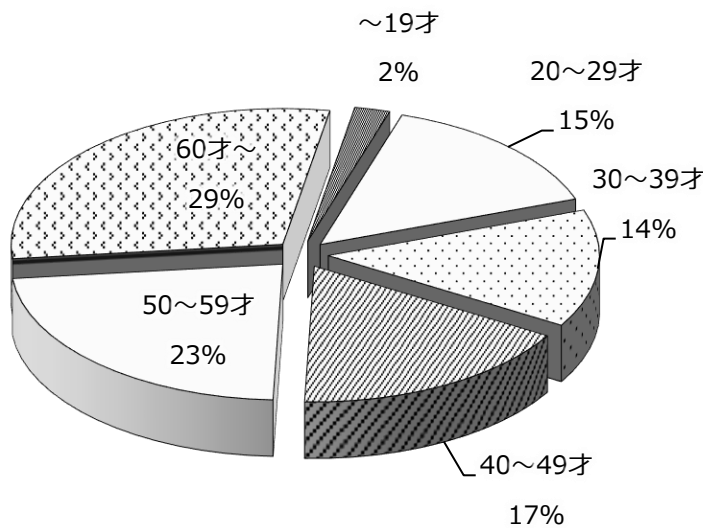
起因物(中分類)	人数
仮設物、建築物、構築物等	208
その他の起因物	128
用具	81
動力運搬機	80
材料	57
人力機械工具等	54
その他の装置、設備	54
その他	244
合計	906

⑤ 事業場規模別



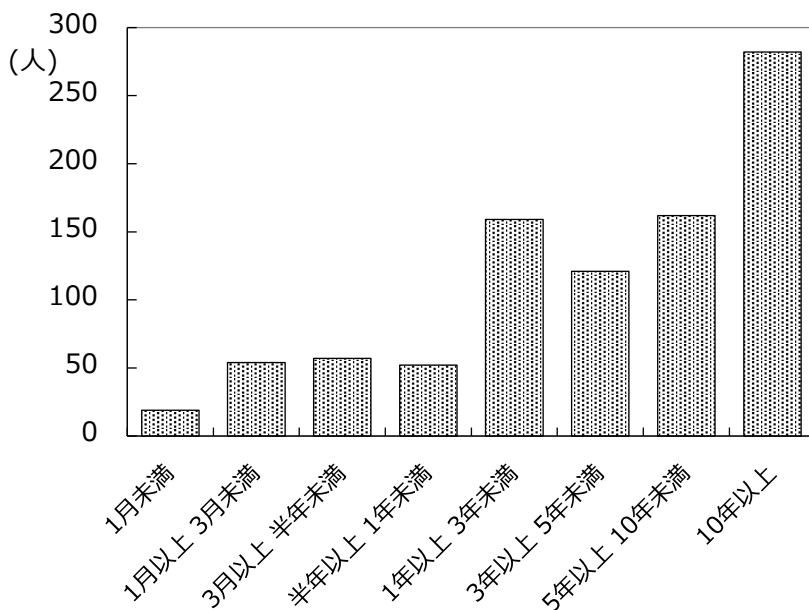
規模区分	人数
~9人	159
10~29人	213
30~49人	148
50~99人	150
100~299人	125
300人~	111
合計	906

⑥ 年齢別



年齢区分	人数
~19才	19
20~29才	133
30~39才	127
40~49才	154
50~59才	206
60才~	267
合計	906

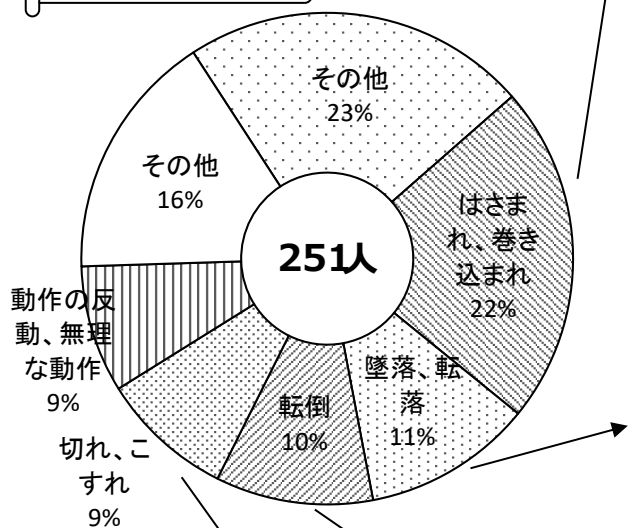
⑦ 経験期間別



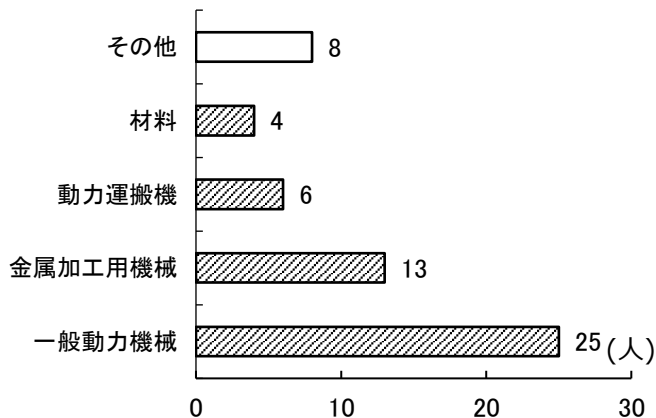
経験期間区分	人数
1月未満	19
1月以上 3月未満	54
3月以上 半年未満	57
半年以上 1年未満	52
1年以上 3年未満	159
3年以上 5年未満	121
5年以上 10年未満	162
10年以上	282
合計	906

2 製造業における労働災害発生状況

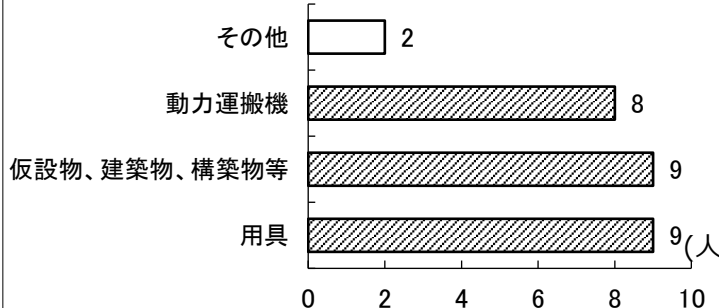
① 事故の型別



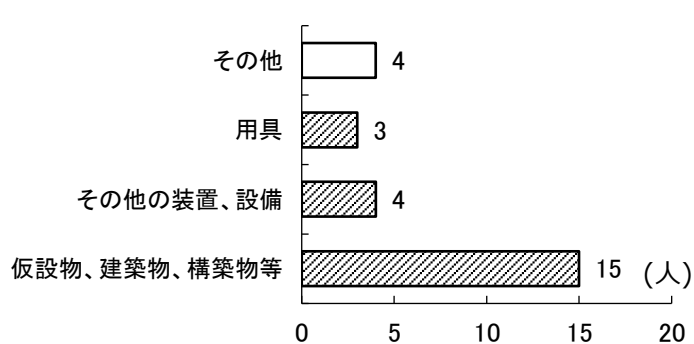
はさまれ、巻き込まれ の起因物



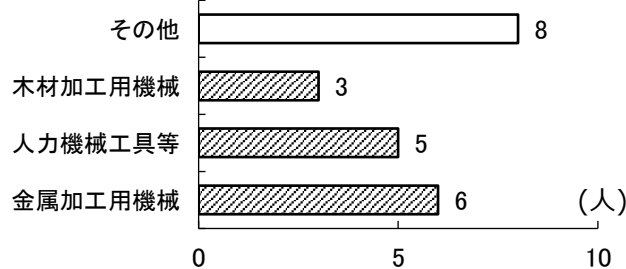
墜落、転落の起因物



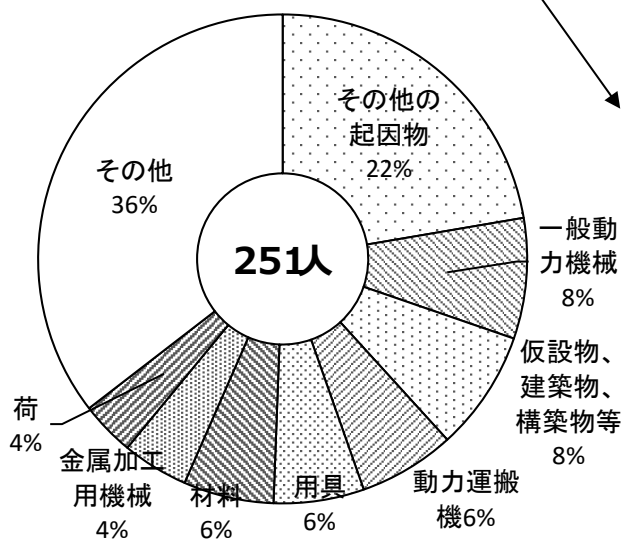
転倒の起因物



切れ、こすれの起因物

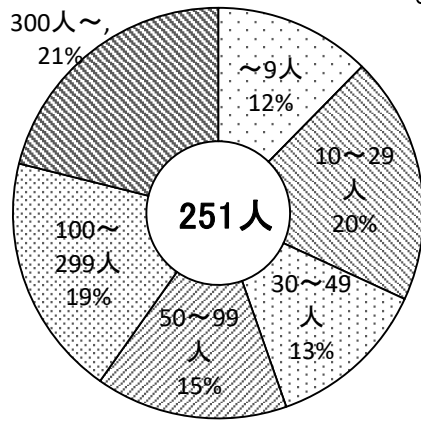


② 起因物別

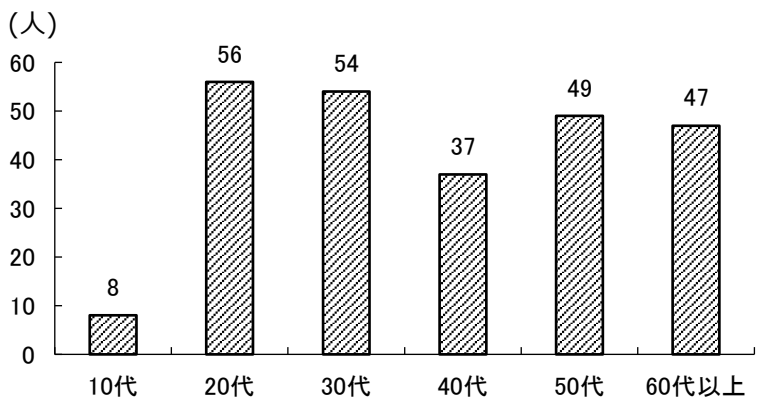


注) 起因物は中分類で具体的には次のとおりです。
 一般動力機械 (食品加工用機械、印刷機、ロボットなど)
 仮設物、建築物、構築物等 (通路、階段、作業床、足場など)
 動力運搬機 (トラック、フォークリフト、コンベアなど)
 用具 (はしご、脚立、玉掛用ロープなど)
 材料 (金属材料、木材、竹材、石、砂、砂利など)
 金属加工用機械 (旋盤、ボール盤、フライス盤など)
 荷 (荷姿の物、機械装置など)

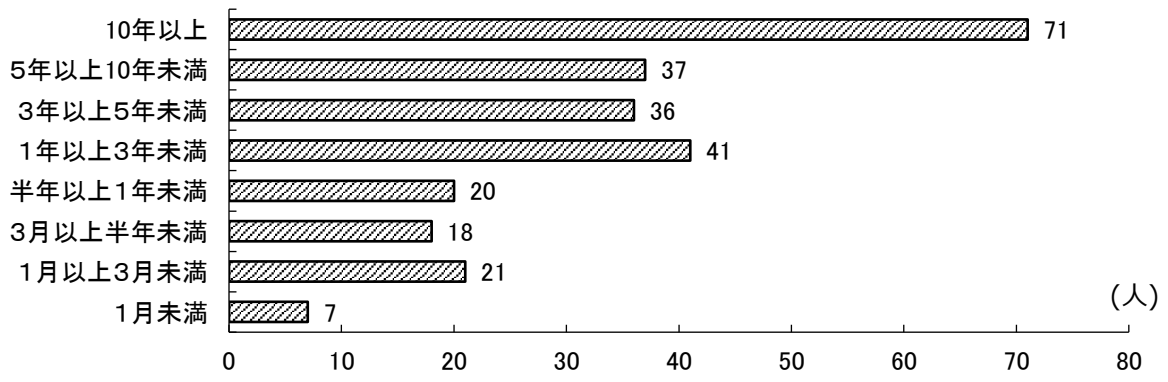
③ 規模別



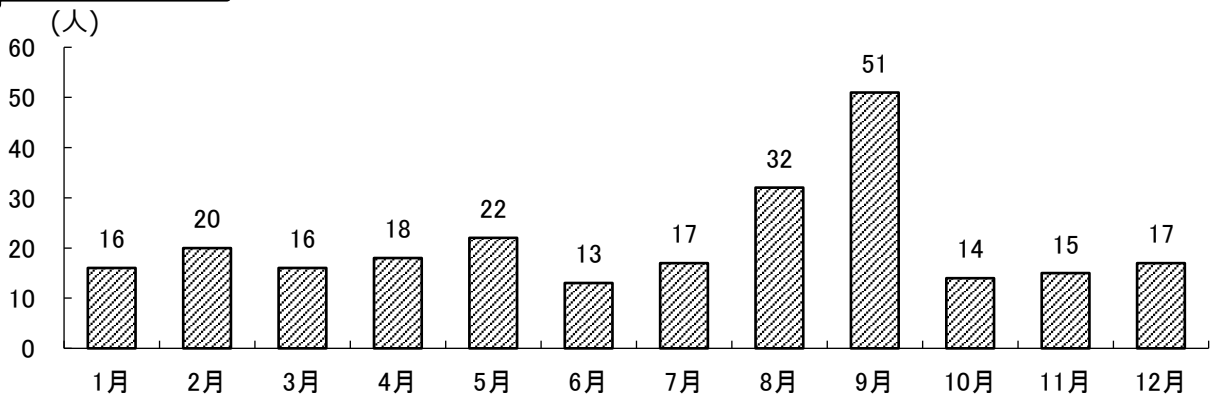
④ 年齢別



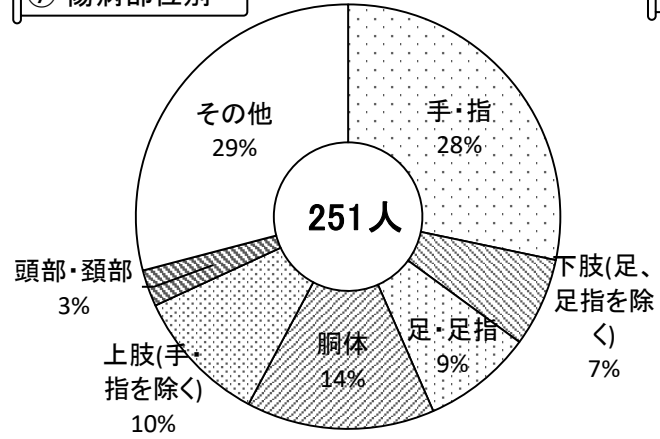
⑤ 経験期間別



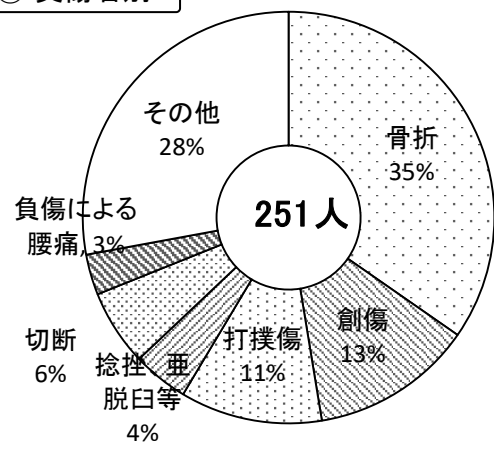
⑥ 発生月別



⑦ 傷病部位別

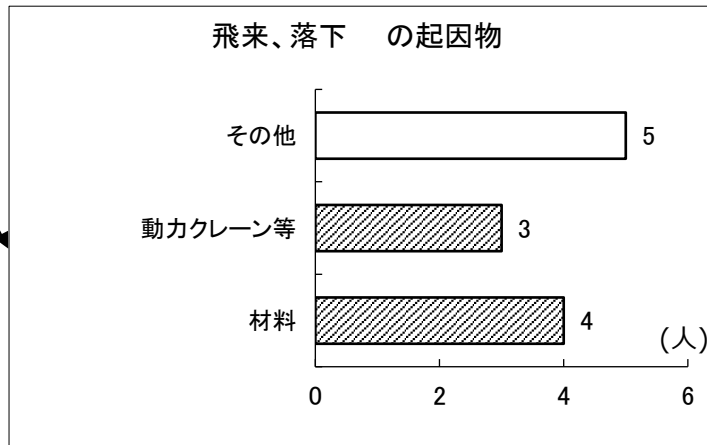
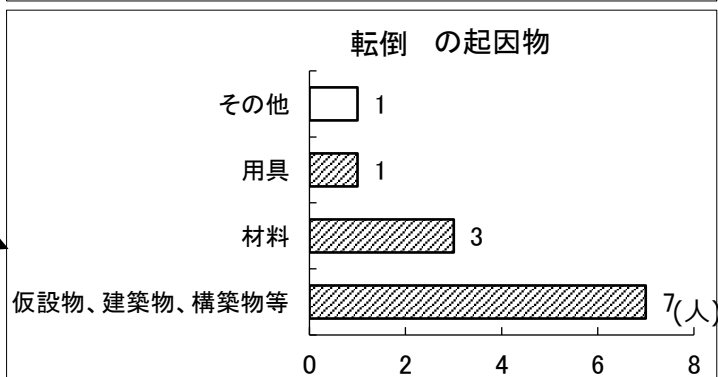
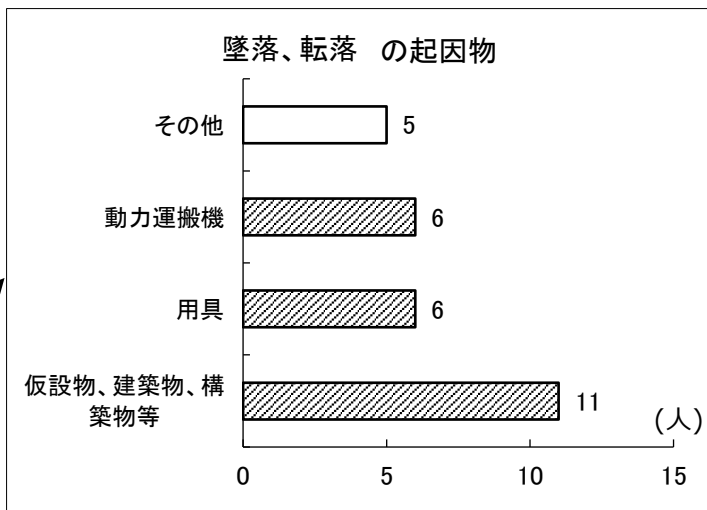
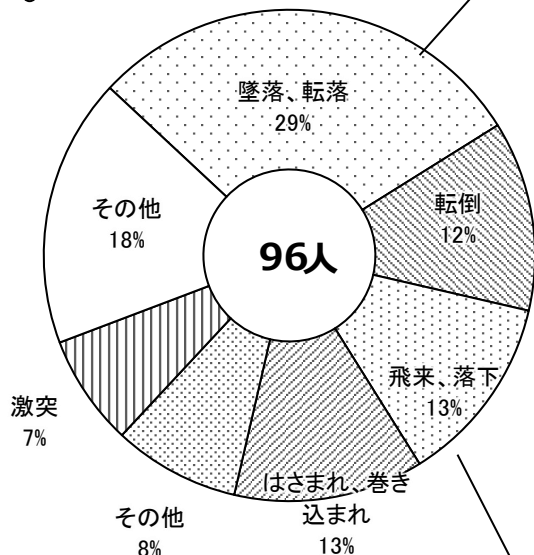


⑧ 負傷名別

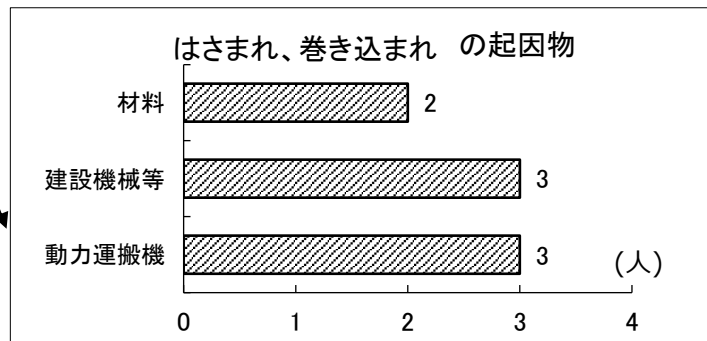
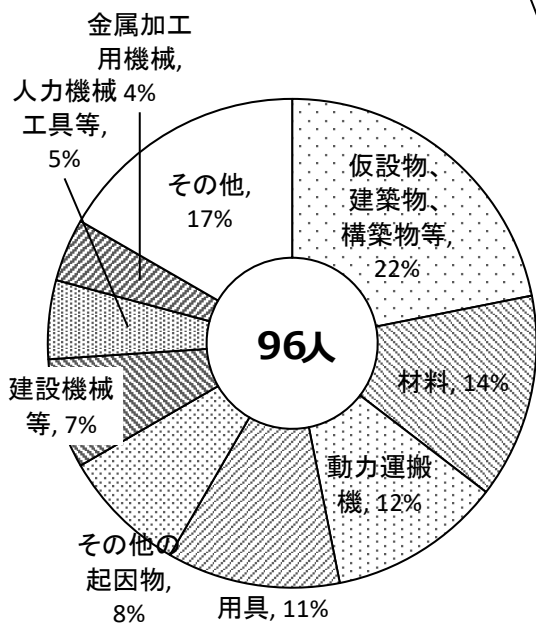


3 建設業における労働災害発生状況

① 事故の型別

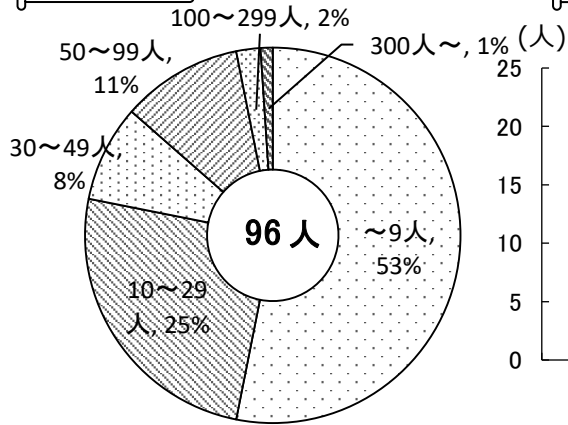


② 起因物別

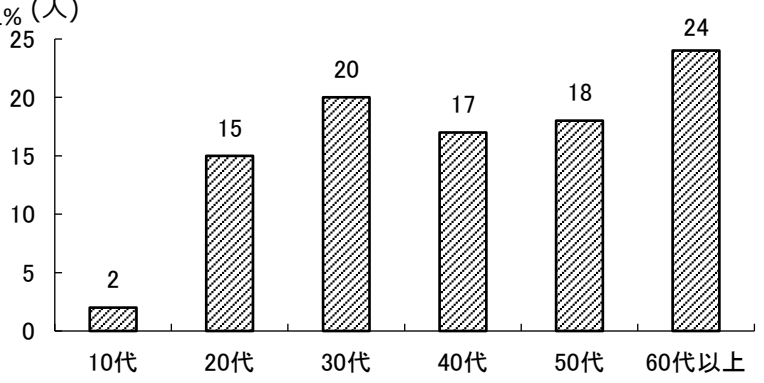


注) 起因物は中分類で具体的には次のとおりです。
 仮設物、建築物、構築物等(通路、階段、作業床、足場など)
 材料(金属材料、木材、竹材、石、砂、砂利など)
 動力運搬機(トラック、フォークリフト、コンベアなど)
 用具(はしご、脚立、玉掛用ロープなど)
 建設機械等(ドラグショベル、解体機械など)
 人力運搬機工具等(一輪車、ハンマー、スパナなど)
 金属加工用機械(プレス機・旋盤・ボール盤など)

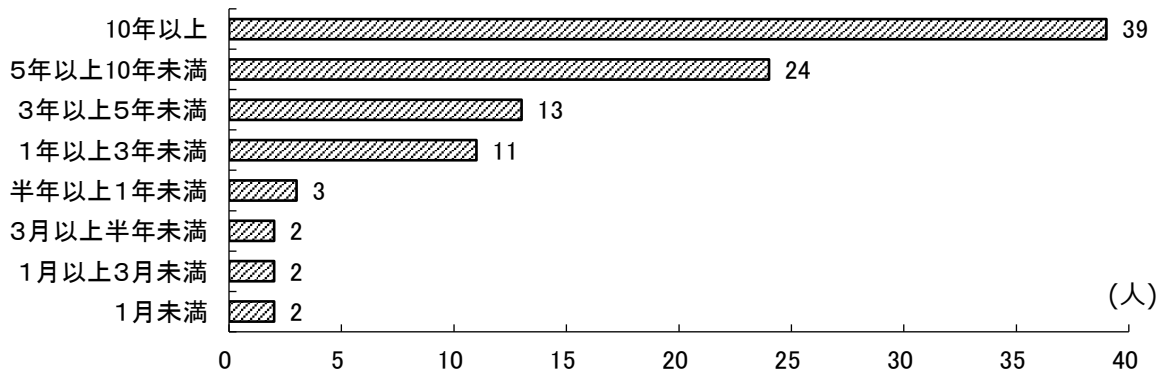
③ 規模別



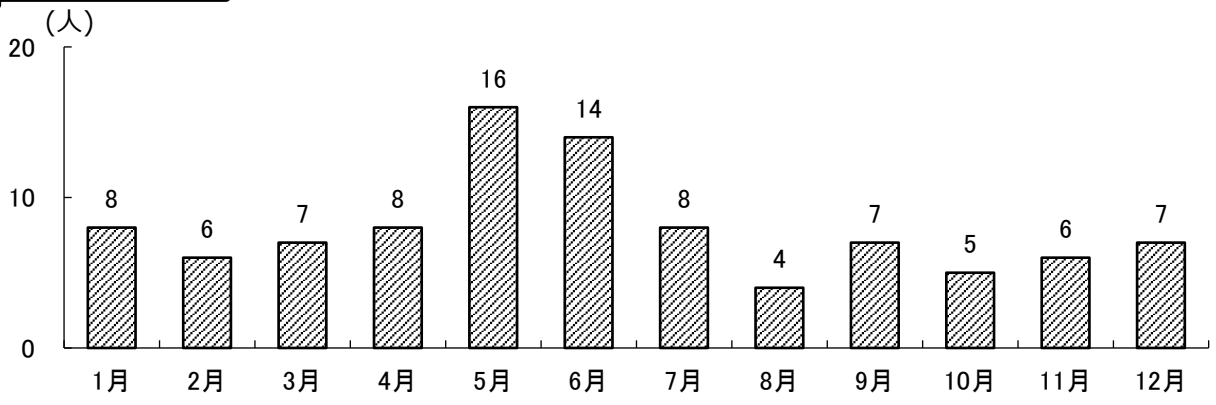
④ 年齢別



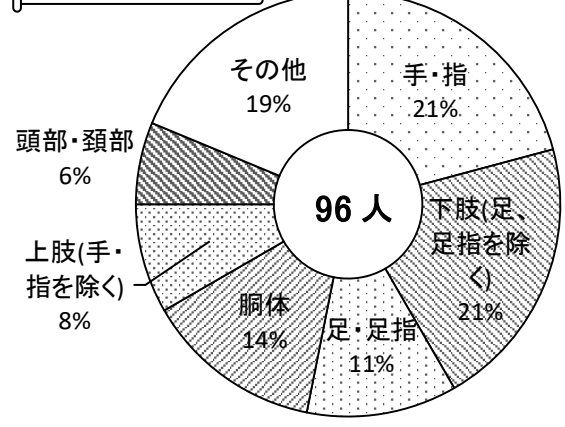
⑤ 経験期間別



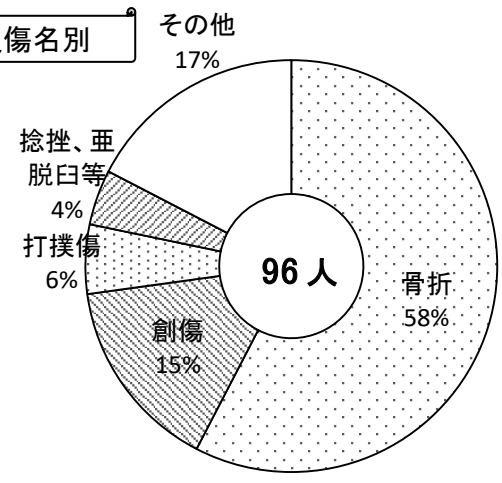
⑥ 発生月別



⑦ 傷病部位別

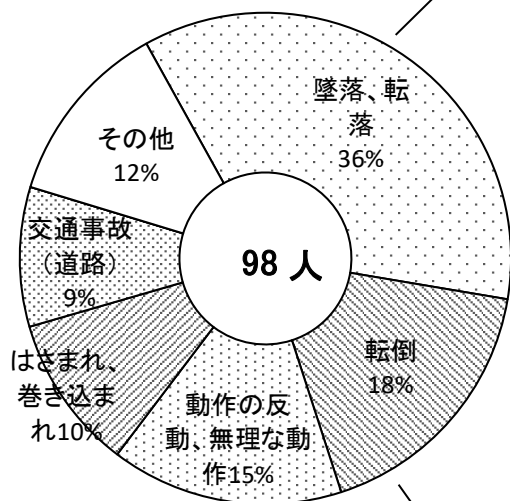


⑧ 負傷名別

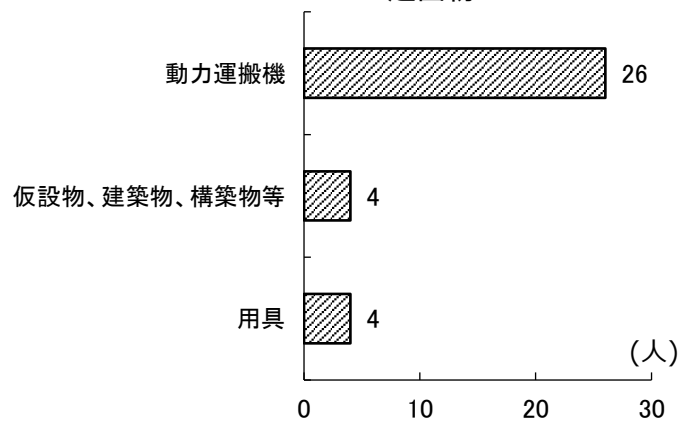


4 運送業における労働災害発生状況

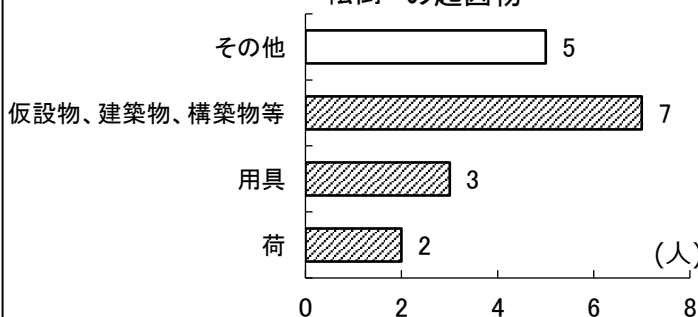
① 事故の型別



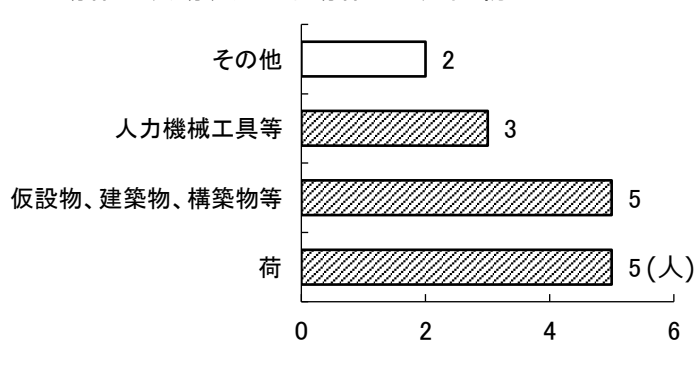
墜落、転落 の起因物



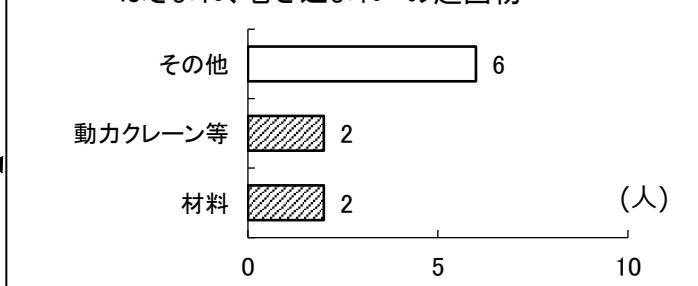
転倒 の起因物



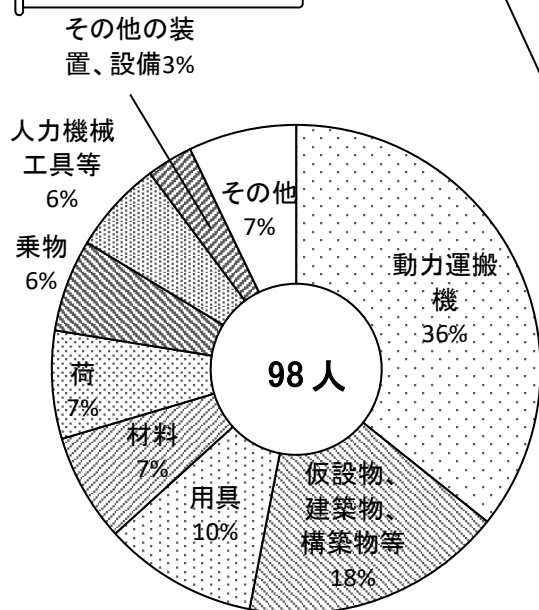
動作の反動、無理な動作 の起因物



はさまれ、巻き込まれ の起因物



② 起因物別



注) 起因物は中分類で具体的には次のとおりです。

動力運搬機(トラック、フォークリフト、コンベアなど)

仮設物、建築物、構築物等(通路、階段、作業床、足場など)

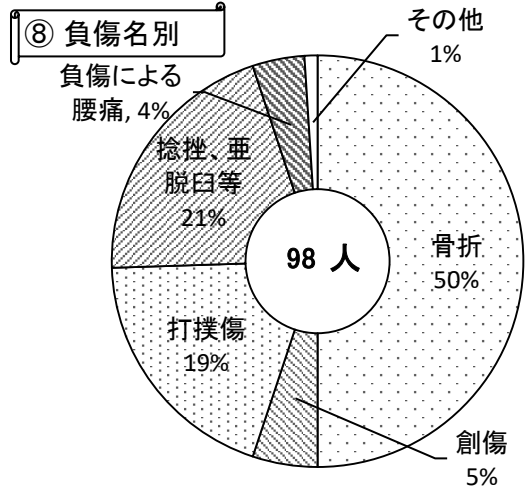
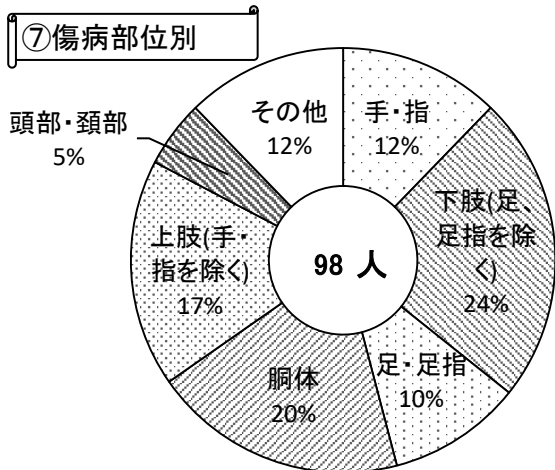
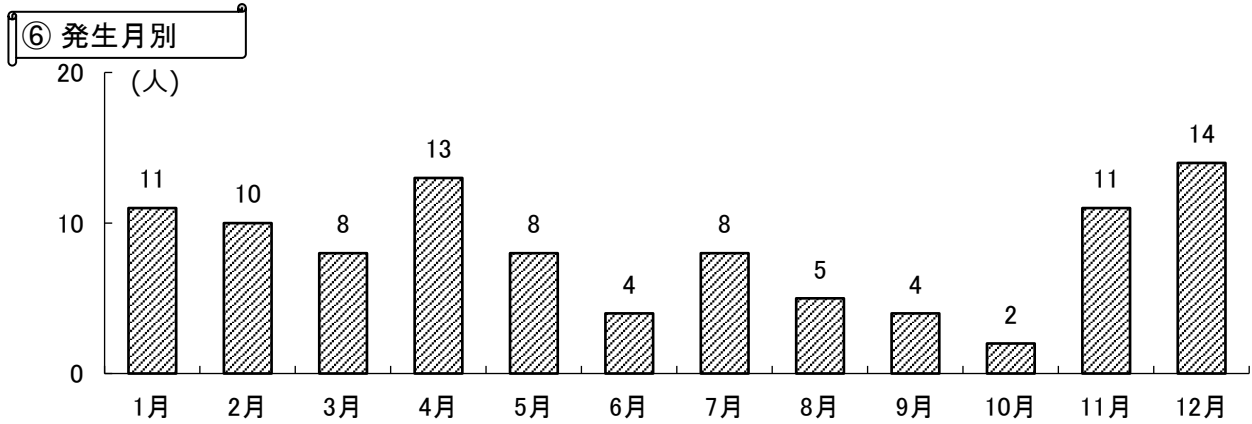
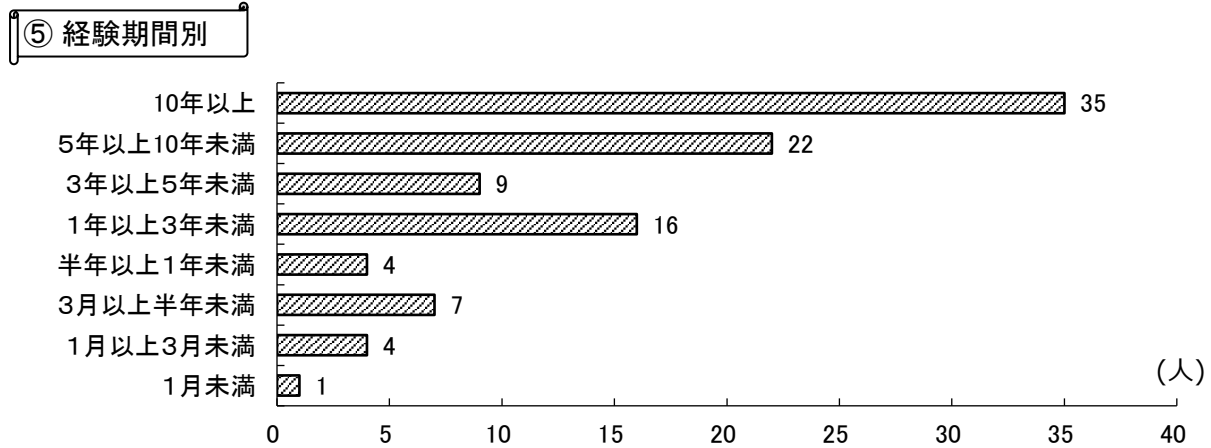
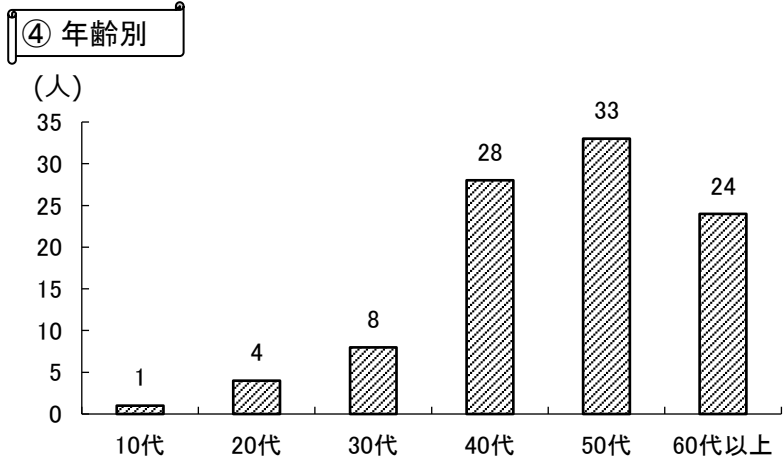
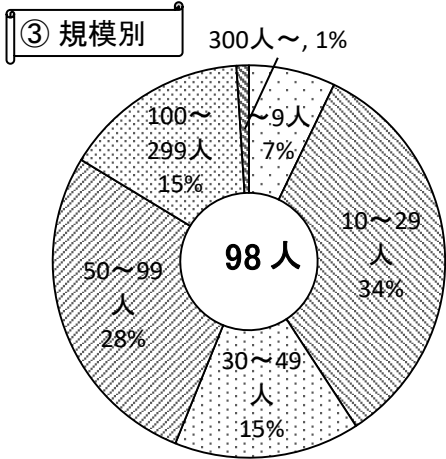
用具(はしご、脚立、玉掛用ロープなど)

材料(金属材料、木材、竹材、石、砂、砂利など)

荷(荷姿の物、機械装置など)

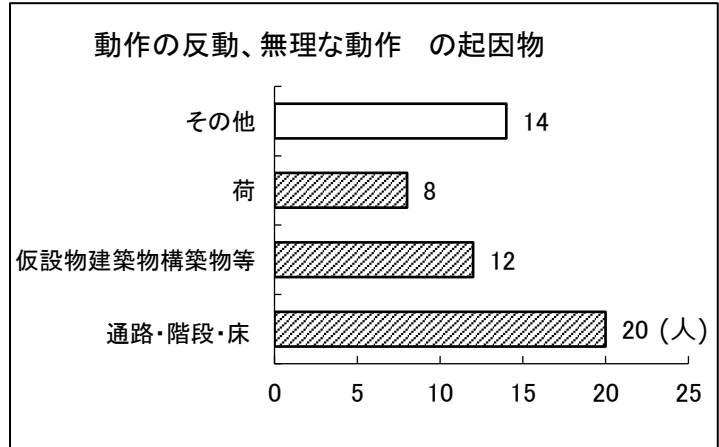
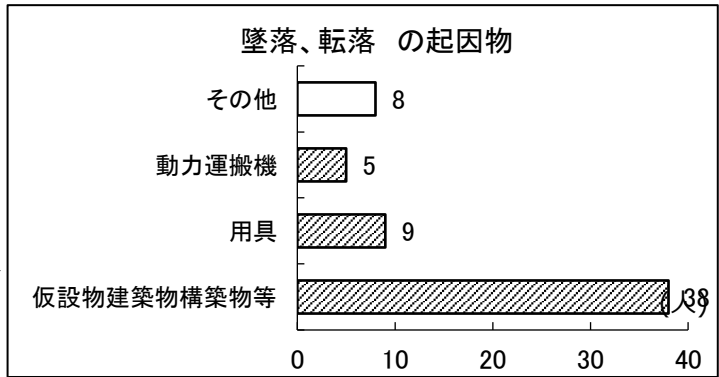
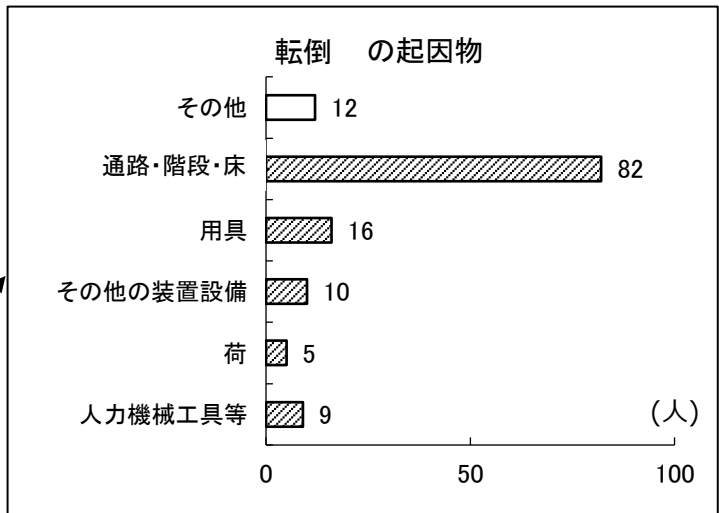
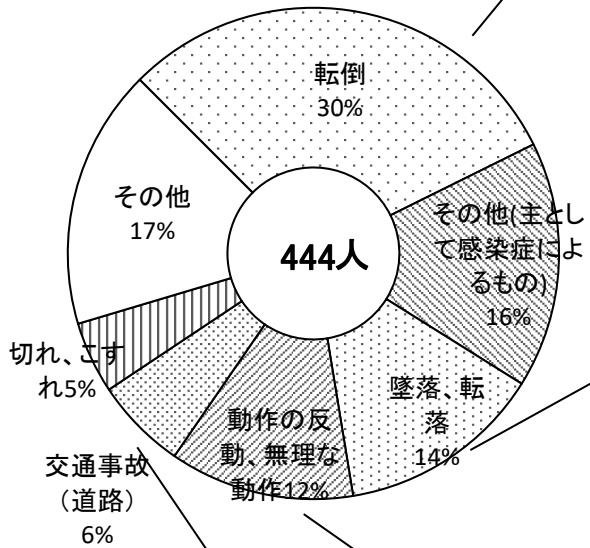
乗物(乗用車、バス、バイク、鉄道車両など)

人力機械工具等(一輪車、ハンマー、スパナなど)

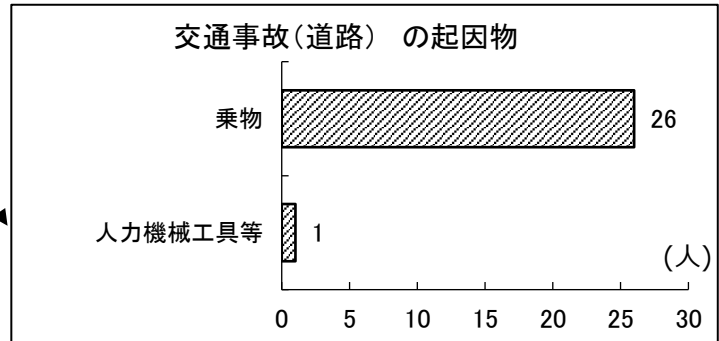
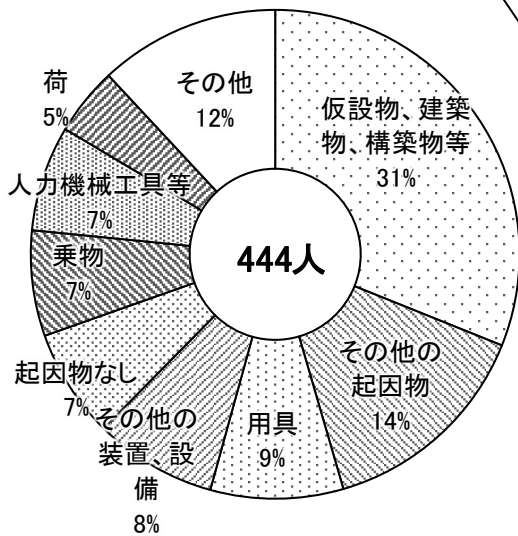


5 商業等における労働災害発生状況

① 事故の型別

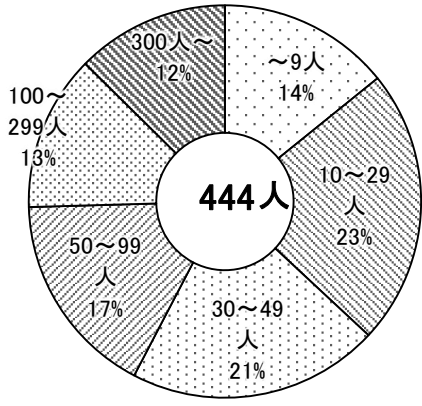


② 起因物別

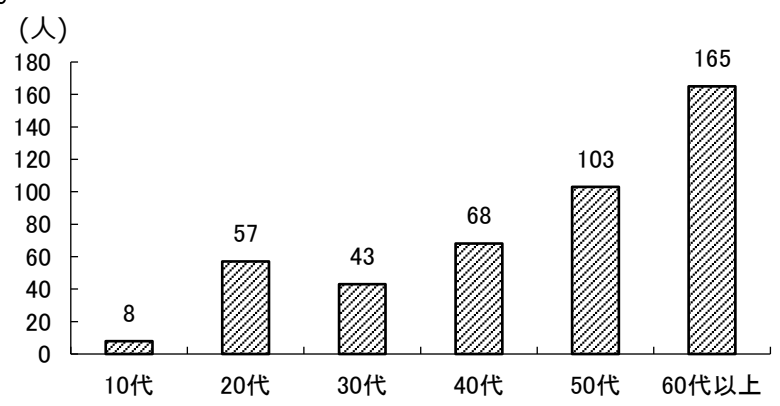


注) 起因物は中分類で具体的には次のとおりです。
 仮設物、建築物、構築物等(通路、階段、作業床、足場など)
 用具(はしご、脚立、玉掛用ロープなど)
 その他の装置、設備(什器など)
 乗物(乗用車、バス、バイクなど)
 人力機械工具等(一輪車、ハンマー、スパナなど)
 荷(箱もの、袋物など運搬のためたばねたもの他)

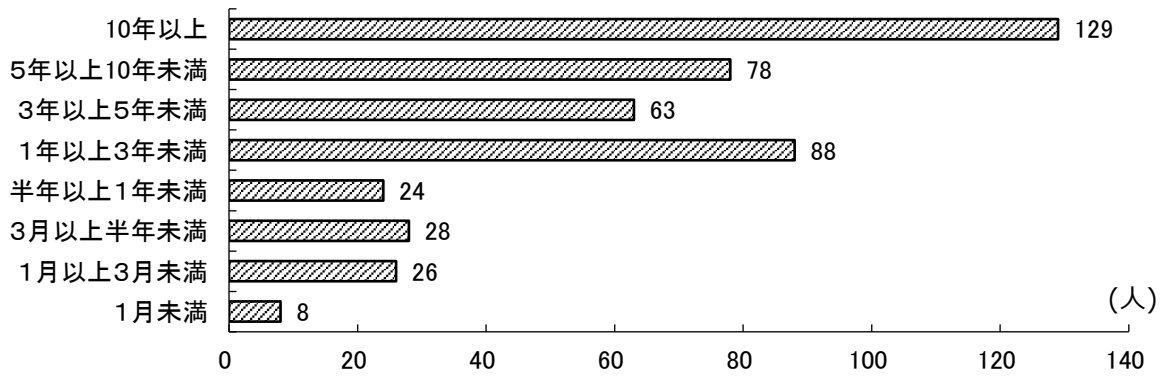
③ 規模別



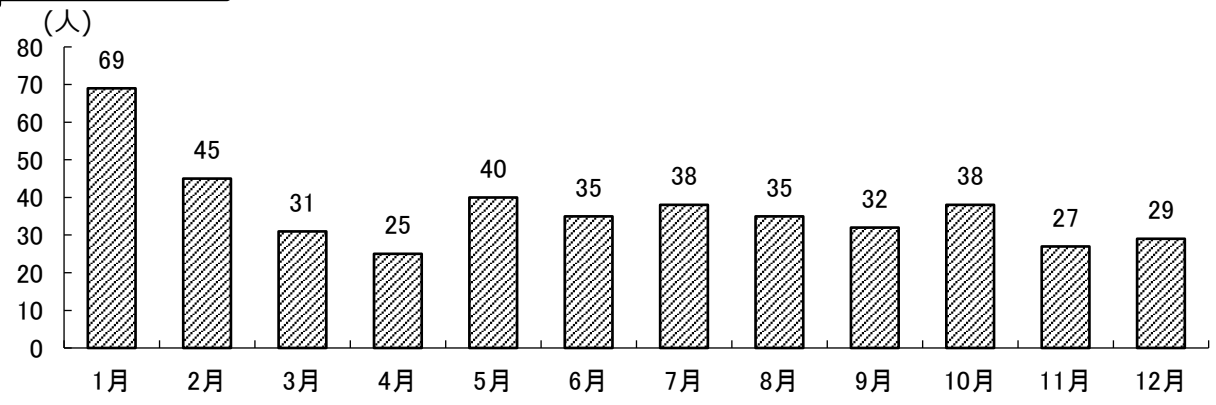
④ 年齢別



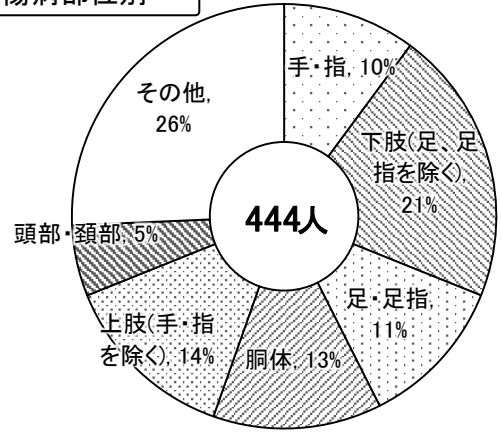
⑤ 経験期間別



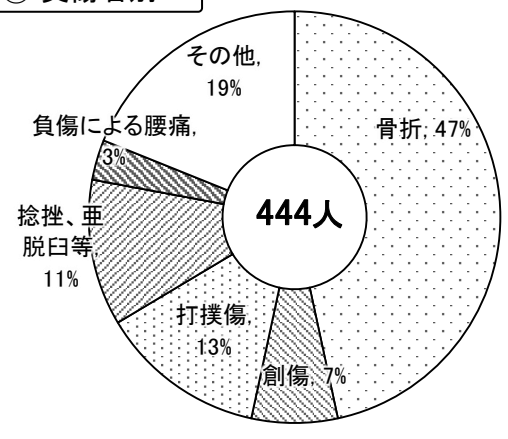
⑥ 発生月別



⑦ 傷病部位別

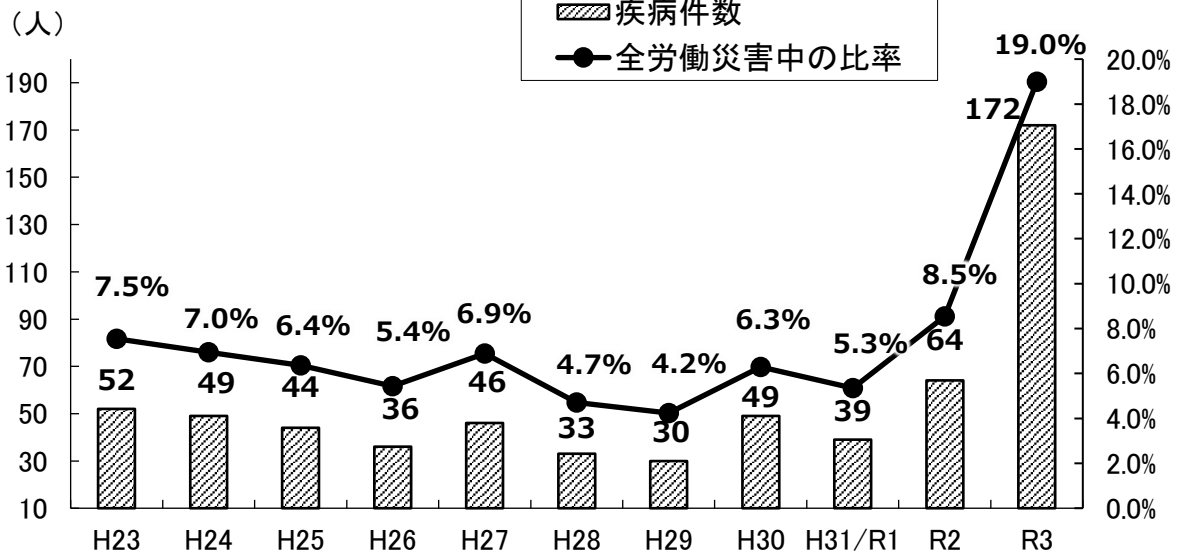


⑧ 負傷名別

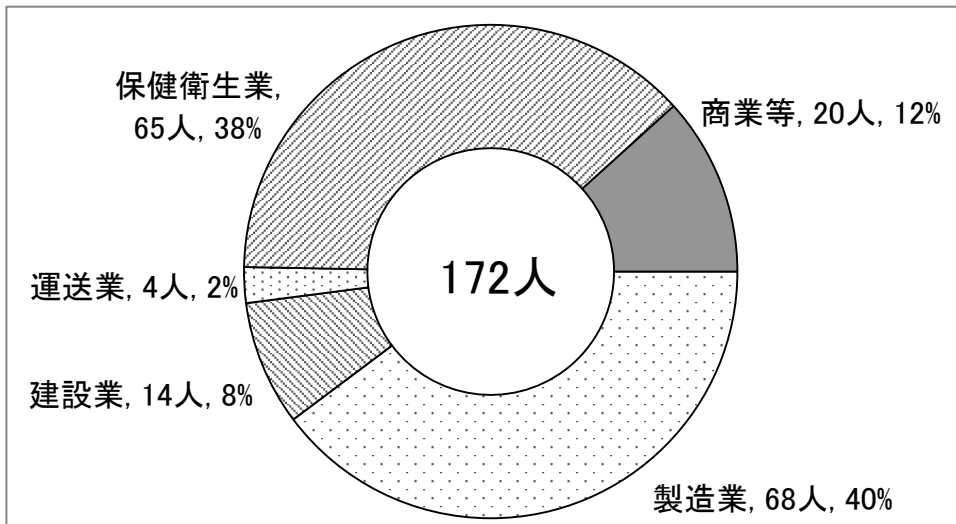


6 業務上疾病の発生状況 (資料出所:休業見込4日以上労働者死傷病報告より)

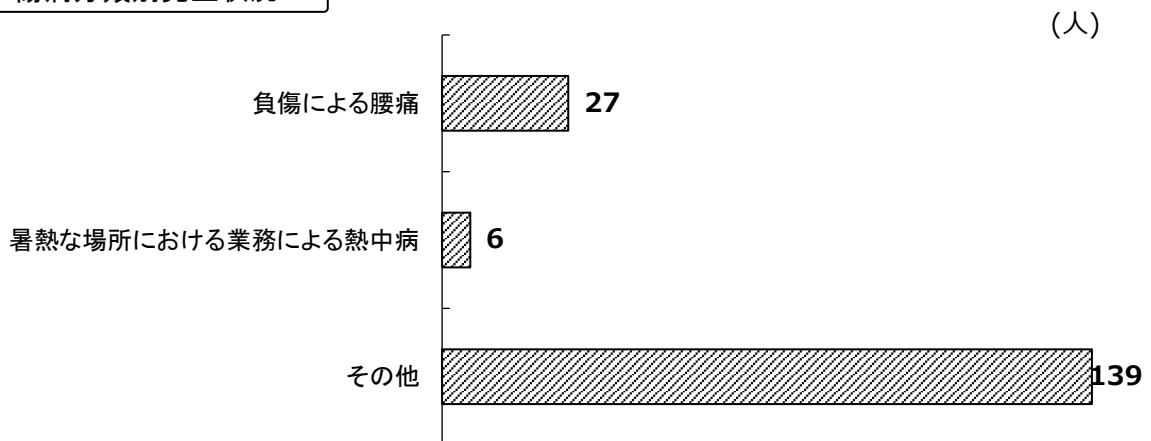
① 発生数の推移



② 業種別発生状況



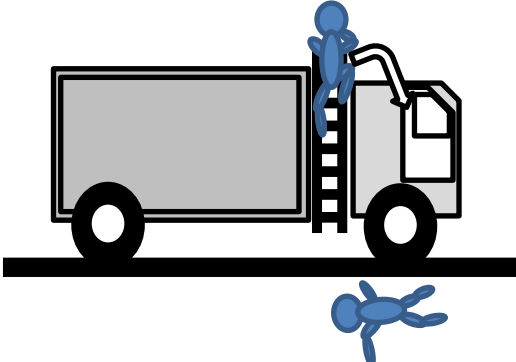
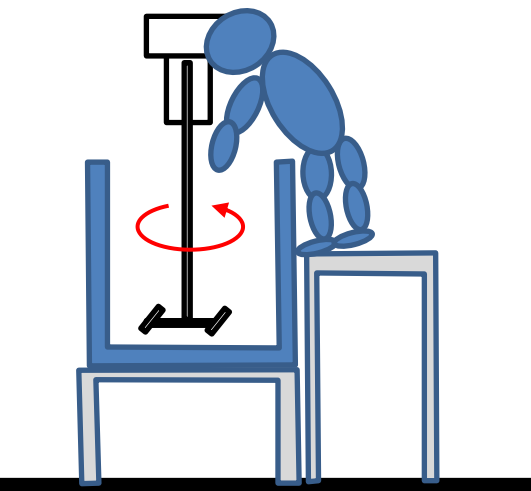
③ 傷病分類別発生状況



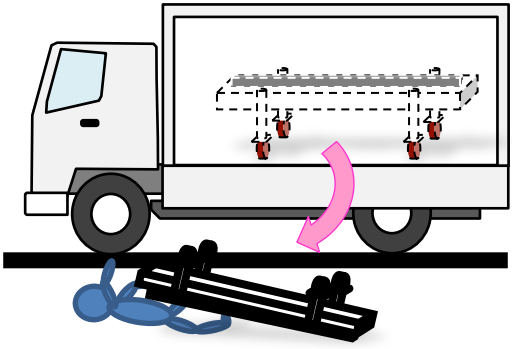
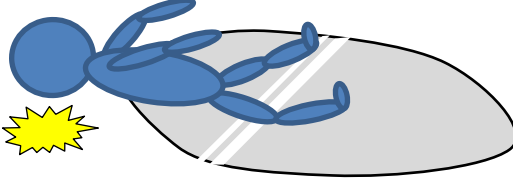
7 労働災害発生事例

令和3年に岐阜署管内で発生した死傷災害事例は次のとおりです。

※災害の概要(略図含む)は、同種災害防止の見地から編集を加えて作成しています。

墜落			略図	災害原因
番号	業種 年齢 被災程度(休業見込)	事故の型 起因物	災害概要	災害防止対策
1	その他の 建築工事業	墜落・ 転落		① トラックの運転者が周囲の状況や被災者の作業位置の確認を怠り、思い込みで運転を行ったこと。 ② ヘルメットを着用せずに、ハシゴを昇降しトラックの荷台で作業を行わせようとしたこと。 ③ ハシゴの昇降中にトラックを動かしたこと。
	80代	トラック		
	死亡		被災者は解体工事業を営む事業場に、軽作業員として勤務している労働者。 解体現場で発生した木くずや廃ボード、金属を仮置きするために使用している土場において、被災者はトラックに積み込まれたフレコンバッグを荷台から降ろすための玉掛作業を行うため、トラックの側面に設置されたハシゴを昇っていたところ、別の者がトラックを動かしたため、被災者がトラックから振り落とされ、約1.8m下の地面に墜落したものの。 被災者はヘルメットを着用していなかった。	① 車両や重機を使用して作業を行うときは、周囲の状況や他の作業者の位置を確実に確認すること。 ② トラックの荷台等、墜落による危険が想定される箇所で行わせるときはヘルメットを着用させる等により墜落による危険防止措置を行うこと。 ③ 振り落とされるおそれがあるため、労働者が車両に備え付けられたハシゴや荷台に乗った状態でトラックを動かさないこと。
はさまれ・まきこまれ				
2	塗料製造業	巻き はさまれ まきこまれ		① 回転軸に覆いが設けられていなかったこと。 ② 使用後の清掃が不十分で、回転軸に原材料が固着した状態となっている機械を使用していたこと。 ③ 機械を停止して作業を行わなかったこと。また、機械を稼働させて作業させる必要があるときに、安全に作業できる治具等を使用させていなかったこと。
	20代	混合機・ 粉碎機		
	休業見込 3か月以上		被災者は塗料製造会社に雇用される2年の業務経験を有する労働者。 塗料を製造する工程において、被災者は、攪拌機に原材料を投入した後、攪拌機の羽根を回転させた状態で、水をかけながら攪拌槽の内側に付着した原材料を清掃する作業を行っていた。 回転軸に固着した原材料に被災者が着用していた作業服の袖が引っ掛かり、腕を巻き込まれたものの。	① 回転軸と身体の一部が接触しないような覆いやカバーを設置すること。 ② 攪拌機使用後の清掃を適切に行い、回転軸に付着した塗料を洗い流し、回転軸に固着しないよう管理すること。 ③ 機械の清掃等の作業を行わせるときは確実に機械の運転を停止させること。 やむを得ず機械を稼働させたまま作業を行わせるときは、安全に作業させることのできる治具等を使用させること。

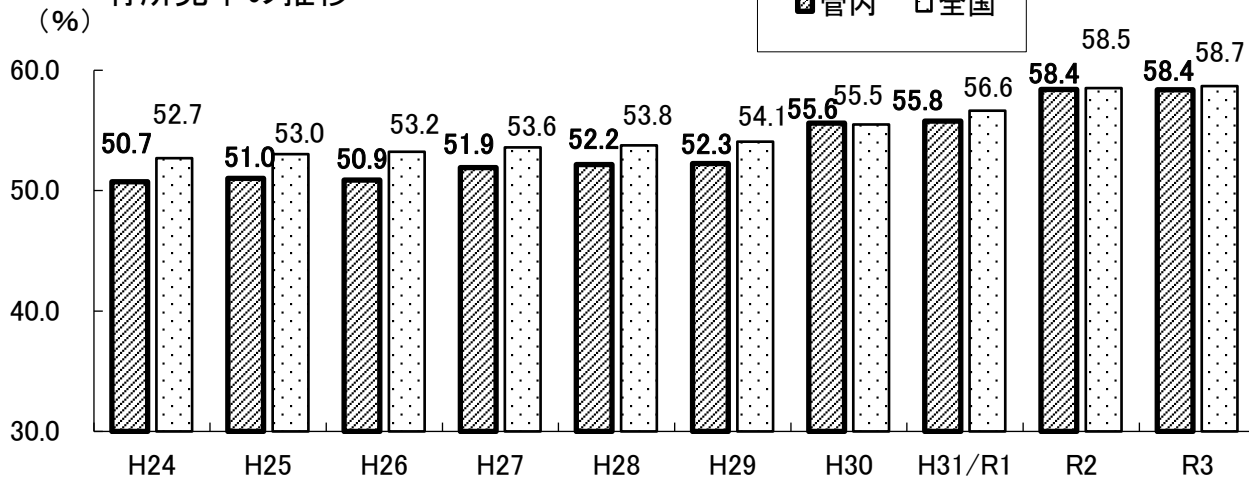
※災害の概要(略図含む)は、同種災害防止の見地から編集を加えて作成しています。

飛来・落下			略図	災害原因
番号	業種 年齢 被災程度(休業見込)	事故の型 起因物	災害概要	災害防止対策
3	輸送用機械器具製造業	飛来・落下		<p>①荷の落下に対する対策を行うことなく、荷解き作業を行ったこと。</p> <p>②重心の高い荷の足4本すべてに、移動が可能となるキャスターが取り付けられ、キャスターには輪留めやストッパーが取り付けられていなかったこと。</p> <p>③被災者が落下した治工具の直下の位置で、荷解き作業を行っていたこと。</p>
	50代	機械装置		
死亡				
転倒				
4	道路旅客運送業	転倒		<p>①通路が凍結し、転倒しやすい環境となっていたこと。</p> <p>②凍結路面の転倒を防止できる作業靴を着用していなかったこと。</p>
	60代	通路		
死亡				

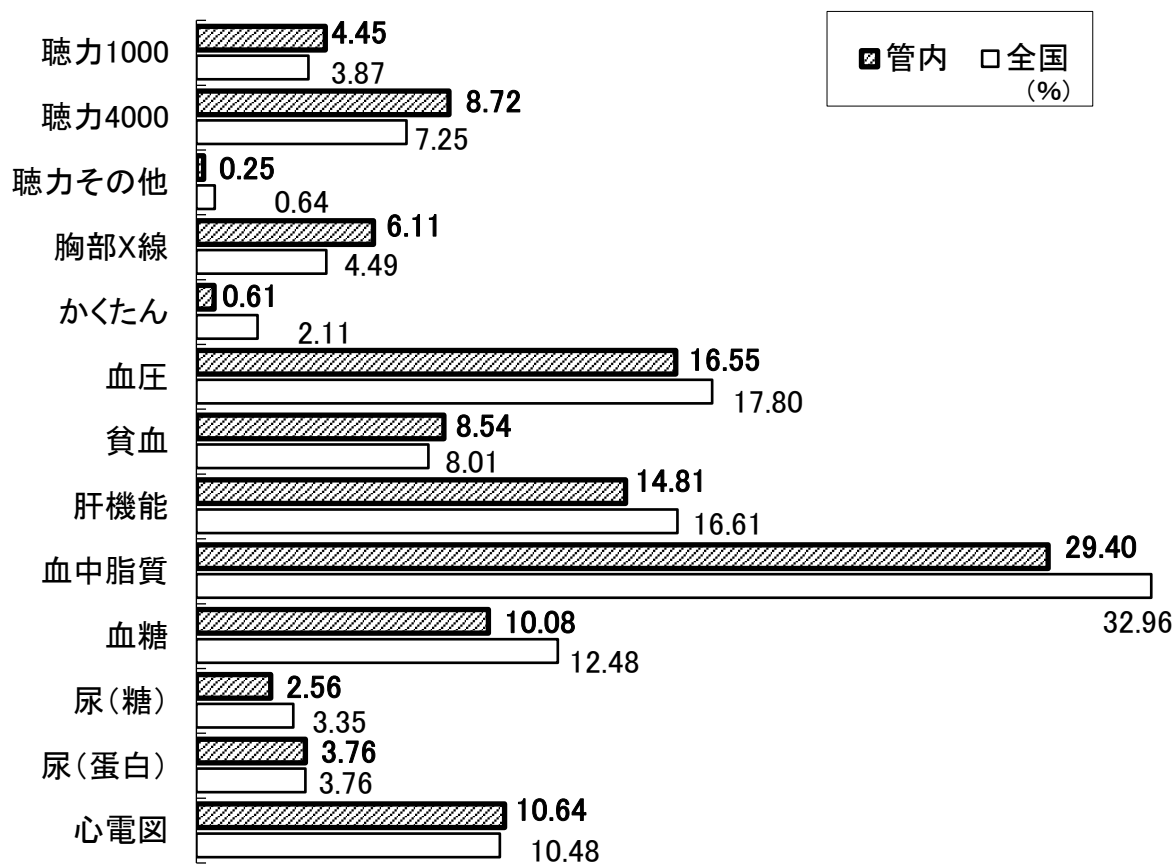
8 健康診断の状況

① 定期健康診断

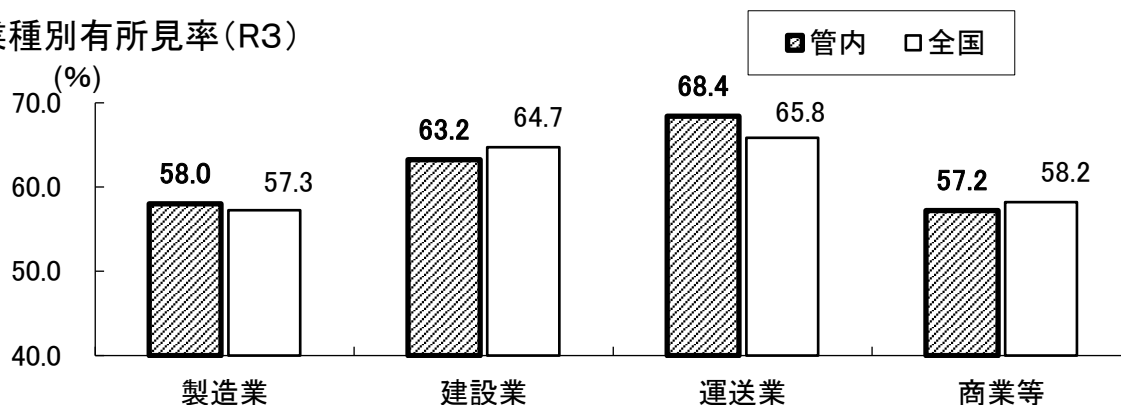
・有所見率の推移



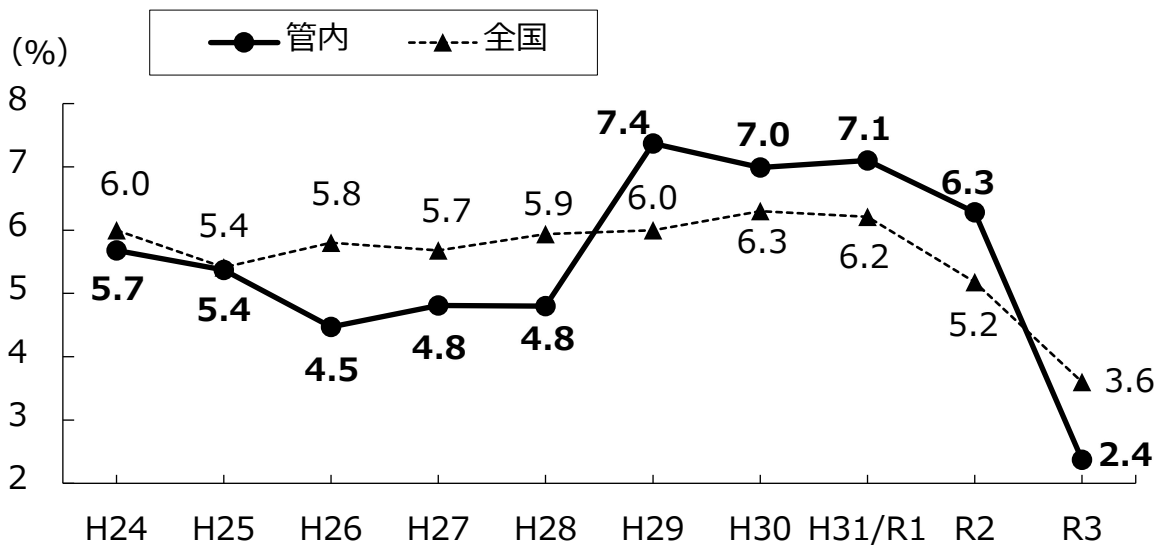
・各健康診断項目の有所見率(R3)



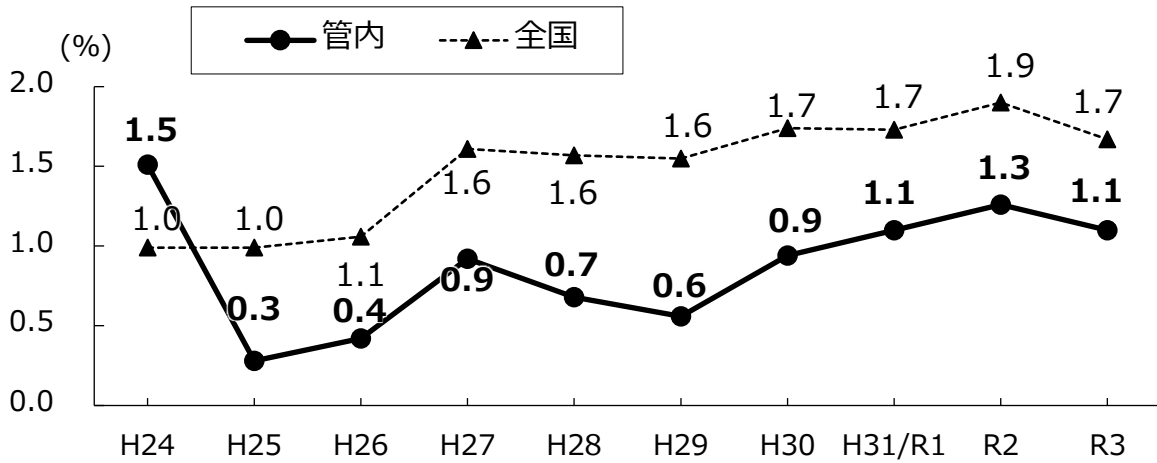
・業種別有所見率(R3)



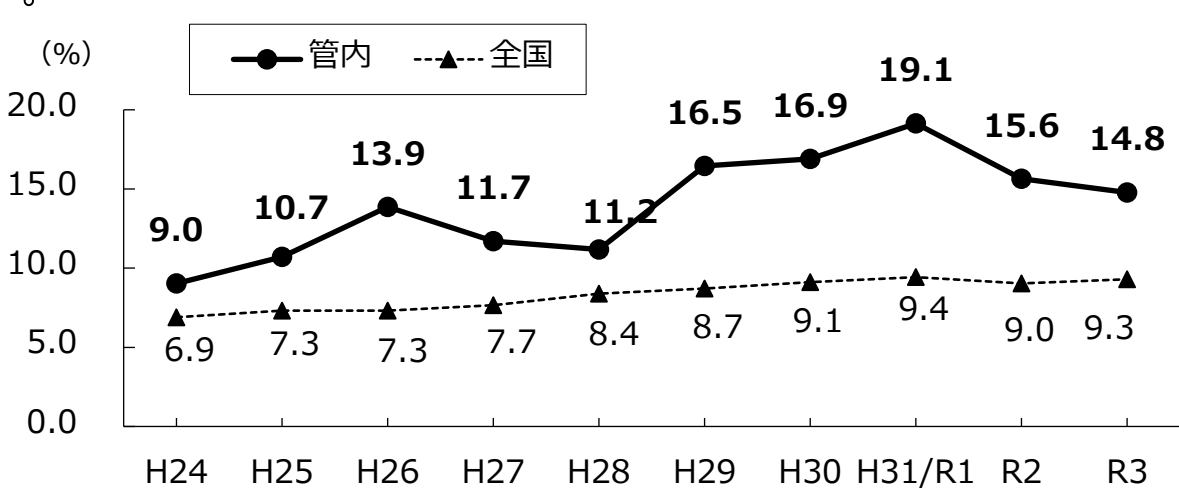
②有機溶剤等健康診断の有所見率の推移



③特定化学物質等健康診断の有所見率の推移



④電離放射線健康診断の有所見率の推移



! 3つの転倒予防

オットット

転倒による労働災害は最も多く、**全体の約25%**
転倒によるケガの**約6割**が**休業1か月以上**のケガです!!

1 作業場所の 整理整頓



2 作業場所の 清掃



3 毎日の 運動



▶ 転倒災害は、**大きく3種類**に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？



厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック!



～働く高齢者の特性に配慮した エイジフレンドリーな職場づくり を進めましょう～

皆さんの職場は、高齢者が安心して働ける環境になっていますか？

働く高齢者が増加（60歳以上の雇用者数は過去10年間で1.5倍）

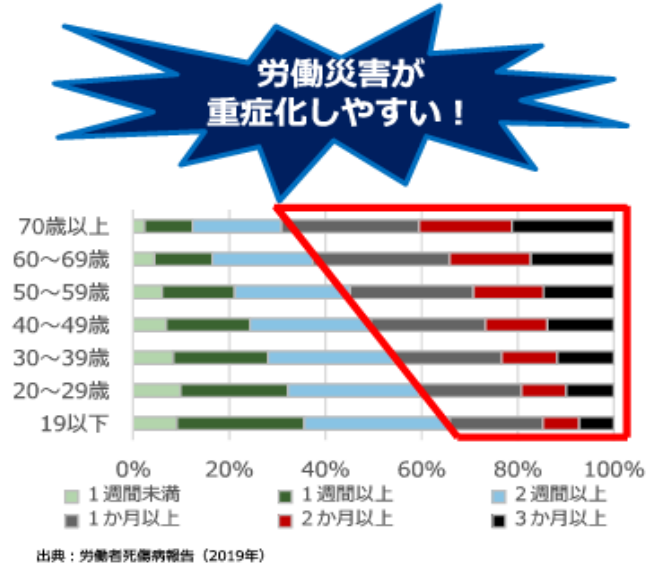
労働災害のうち60歳以上の労働者が占める割合は**1/4以上**（2019年は27%）

労働災害発生率は、若年層に比べ**高年齢層で高い**

＜年齢別・男女別の労働災害発生率＞



＜年齢別の休業見込み期間の長さ＞




労働災害が続けば人手不足を招くおそれも…



安心して安全に働くことのできる職場づくりを！

エイジフレンドリーガイドライン（高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン）を策定しました。（令和2年3月）

 厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

岐阜産業保健総合 支援センターのご案内

1 産業保健スタッフへの 専門的研修

- 企業の産業保健活動に携わる産業医、産業看護職、衛生管理者をはじめ、事業主、人事労務担当者などの方々を対象として、産業保健に関する専門的・実務的な研修を実施します。

2 メンタルヘルス 対策支援

- 中小規模事業場を訪問し、メンタルヘルス対策（ストレスチェック制度導入を含む）の推進のための支援を行います。
 - 管理監督者、若年労働者などを対象としたメンタルヘルス教育を訪問して実施します。
- ※裏面の申込書によりご連絡ください。

3 治療と仕事の 両立支援

- 事業場を訪問し、治療と仕事の両立支援に関する制度導入の支援や管理監督者、社員等を対象とした意識啓発を図る教育を実施します。
 - 労働者（患者）と事業者、医療機関との連絡調整等、復職に向けた個別調整支援を行います。
- ※裏面の申込書によりご連絡ください。

4 専門的な 相談対応等

- 産業保健スタッフ等の方々からの産業保健に係る相談について、産業保健相談員等専門スタッフが対応します。
- 作業環境管理、作業管理等について、必要に応じ事業場を訪問しアドバイスを行います。

5 産業保健に関する 情報提供等

- ホームページ・メールマガジン・情報誌の発行を通じて産業保健情報をお知らせします。
- ※メールマガジンの配信をご希望される方は裏面の登録書によりご連絡ください。



地域産業
保健センターを
ご利用ください

労働者50人未満の小規模事業場の
事業者や労働者の方を対象に以下の支援を行います。

- 1 健康診断結果に基づく医師からの意見聴取
- 2 脳・心臓疾患のリスクが高い労働者に対する保健指導
- 3 メンタルヘルス不調の労働者に対する相談・指導
- 4 長時間労働者及び高ストレス者に対する面接指導
- 5 個別訪問による産業保健指導



岐阜県内の地域産業保健センター

- ☑岐阜地域産業保健センター／岐阜市青柳町 5-4
TEL 058-255-0373・FAX 058-255-1555
- ☑西濃地域産業保健センター／大垣市新田町 1-8
TEL 0584-88-1588・FAX 0584-89-8718
- ☑飛騨地域産業保健センター／高山市天満町 4-70
TEL 0577-35-3218・FAX 0577-35-3269
- ☑東濃地域産業保健センター／土岐市土岐ケ丘2丁目12番地1
TEL 0572-56-1200・FAX 0572-56-1200
- ☑中濃地域産業保健センター／関市平和通 6-11-1
TEL 0575-24-8219・FAX 0575-24-8210
- ☑恵那地域産業保健センター／中津川市茄子川 1683-180
TEL 0573-68-8153・FAX 0573-68-8152
- ☑郡上地域産業保健センター／郡上市八幡町小野 3-2-13
TEL 0575-65-5908・FAX 0575-65-5824

ご相談・ご利用はすべて**無料**です みなさまのご利用をお待ちしております

独立行政法人 労働者健康安全機構
岐阜産業保健総合支援センター

〒500-8844 岐阜市吉野町6-16 大同生命・廣瀬ビル
TEL 058(263)2311 FAX 058(263)2366

URL <https://www.gifus.johas.go.jp> E-mail info@gifus.johas.go.jp

